



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8816

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆あの日、2人の間で何があったのか…◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



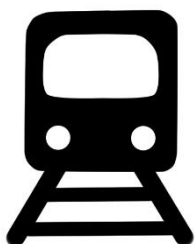
さて、先日、神奈中バスの相模原営業所の山田所長に、こんなことを聞いてみました。「山田さんは小田急の駅長とかと交流ってあるの？」実は以前、バスの営業所の所長と電鉄の駅長さんは交流があるような話を聞き、それを確認したいと思い聞いてみました。

すると、山田所長「いっぱいありますよ！」私「じゃあ、こないだまで相模大野駅で管区長(←複数の駅長を束ねる役職)をやってた鈴木さんってご存知？」山田所長「知ってるもなにも、先日もお世話になったばかりですよ！」とのことでした。

その週末、今度は小田急電鉄の鈴木さんにお会いする機会があったので「うちのバスの相模原の山田が、先日は大変お世話になりましたと言っていましたよ」と伝えたところ、「いやいやいや、お世話になっているのは、こっちの方なんだよ」と言われ、私は「どういうことですか？」と、聞いてみました。

すると、鈴木さんは「米山さん、あのときのことを覚えてないですか？」と切り出し、ある話をしてくださいました。あの日というのは、2014年6月19日、小田急線が当時、相模大野駅の電車の車庫から出るときに、脱線する事故があったときです。脱線したのがちょうど夕方で、学生や会社員の帰宅の足が相模大野で分断されてしまい、テレビのニュースで大きく放映されました。

当時の相模大野の駅長だったのが鈴木さんで、そのときに山田所長に大変



お世話になったとのことでした。あの日鈴木さんは駅長として、脱線の情報をつかみ、その内容からすぐには復旧できないと判断。すぐにバスの代行運転を出さないと大混乱になると思ったそうです。そして、通常であれば代行運転を出して (2枚目へ→)

(続き→) もらうには、小田急さんの本社に連絡をして上の方々の了解を取ってから神奈中の本社に連絡をして・・・というルートらしいのですが、そんなことをしていたら帰宅ラッシュの時間になり、大混乱を招いてしまうと思い、鈴木さんの判断ですぐに近隣のバスの営業所の山田所長に電話をしたそうです。「実はまだニュースになってないんだけど、脱線してしまって、これから大混乱になることが想定されるから神奈中さんの方で代行運転の協力をしてくれないだろうか」と。

それを受けた山田所長は「任してください。すぐにつけてあげます！」と言って、まず、副所長に状況と、それから、これからあがってくるバスの運転手さんに、できる限り協力してもらえようようにひとり一人にお願いしてくれと伝え、山田所長本人はバスを1台仕立てて、すぐに駅に向かったそうです。

そして、1便目の代行運転はすぐに出すことができ、山田所長は駅で営業所の副所長とタイムリーにやりとりをしながら代行運転の指揮をとり、営業所では「協力してやってくれ！」「わかりました！」と、そういう一致団結があり、さらに、近隣の営業所にも応援を頼みと、そんなことがあって、鈴木さんは「山田所長には感謝してもしきれないんだ」と話してくださいました。

私はこの話を聞いて、日頃から小さな事でも“困ったときはお互い様”の関係ができているおかげで、大きな事が起きてしまっても、助け合えるんだと思いました。日頃からいい関係を築いておくことは、とっても大切です。

◆発行者コラム◆

おかげさまで、今年も1年間、神奈中情報通信を継続してくることができました。これもまた、読者のみなさまから「読んでるよ！」と、お声がけいただけているおかげです。来年も続けてまいりますので、何卒、よろしくお願い申し上げます！米山

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

 株式会社
神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町7番35号

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8816

発行責任者: 神奈中情報システム

